



快適な建物環境を維持するために。

今月の輝くヒーロー

設備管理業務一筋のベテラン社員さん達です。
以下3項目についてインタビューさせていただきました。

Q1 : 設備管理業務の魅力は

資格を活かせる仕事であり、お客様の要望にお応えすることで自分自身の技術向上も図れ、長く勤めることのできる業務です。

Q2 : 現場の知恵とコツ

建物によって設備機器の管理方法は異なりますが、どの現場においても設備機器の正常な状態を把握し、異常に気付けるように目配り・気配りすること。

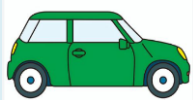
Q3 : これからについて

体が動く限り今後も継続して業務につき、これまで先輩から教わった知識や技術を後輩社員に受け継いでいきたいです。

令和8年9月1日から

生活道路における自動車の法定速度が60km/hから30km/hに引き下げとなります。

特に道幅が狭い道路の最高速度が引き下げとなりますので、より一層安全運転を心掛けましょう！



生活道路とは？

主に地域住民の日常生活に利用される、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことです。



ドライバーの皆様へ

最高速度は、交通の安全と円滑を図るためにあり、これを守ることは、ドライバー、同乗者、歩行者、自転車の方々を守ることにつながります。決められた速度の範囲内であっても、道路状況や天候等に応じて、安全な速度で運転するよう心掛けてください。

こんな道は特に気を付けよう！

民家・商店が多い

通学路である

天候等で視界が悪い

カーブが多い

■警察庁HP

▼生活道路における法定速度の引下げについて
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/seikatsudouro/seikatsudouro.html>

問い合わせ先

■全国都道府県警察HP

▼各都道府県警察本部リンクはこちらです
<https://www.npa.go.jp/link/prefectural.html>



生活道路における自動車の法定速度が引き下げられます！！

令和8年9月1日
(2026年)
改正道路交通法施行令施行

60 km/h
↓
30 km/h

警察庁・都道府県警察



安全衛生委員会より

『防災の日』

9月1日は「防災の日」です。地震だけでなく、日本は台風、豪雨などの自然災害が発生しやすい国です。様々な災害に備え、日頃からの防災対策をしっかりとっておきましょう。

日頃の備えがあなたと家族を守ります！

いつ発生するか分からない災害。日頃の備えがあれば、あなたと大切な家族を守ることができます。また、万一、災害が発生したときには、周囲の人たちと協力することが大切となってきます。日頃のあいさつややりとりのなかで、いざというときに助け合える関係をつくっておきましょう。

さらに詳しい日頃の備えや臨時情報等については
こちらから



日頃からいざというときの備えを

貴重品の備え



運転免許証、障害者手帳、母子手帳等は常に持ち歩き、貴重品は保管場所を家族で共有。いざというときに持ち出せるようにする。

常用薬・お薬手帳の備え



お薬手帳やマイナ保険証の使用により、災害時でも常備薬や病気の情報が正確に伝わり、適切な治療が受けられる。

トイレの備え



携帯トイレ（保潔用密閉袋・ポリ袋）やトイレシート（紙）を1週間分程度備えておく。

感染症対策も加える



マスク、体温計、アルコール消毒液、手袋などの感染症対策用品を非常持ち出し品に加える。

家族の取り決めを

身近な避難場所を確認



自宅だけでなく、よくいる場所の近くの避難場所と安全なルートを用意しておく。

子どもの引渡しルール



保育園等に子どもを預けている場合、引渡しのルールなどを事前に決めて、家族で共有しておく。

となり近所・地域で関係づくりを

日頃の交流・訓練参加



日頃から災害の際の助け合いを意識してご近所との付き合いの輪を広げておく。防災訓練にも積極的に参加する。

子どもの保護



災害時に高まる子どもへの暴力などのリスクに早期に対応する相談・支援体制をつくる。

近隣の要配慮者の把握



高齢者や障害者、妊産婦、外国人など、情報把握や避難が迅速にできない人を把握し、個別避難計画づくりに協力する。

地元企業等との連携



地元企業・自治体・地域住民の連携を深め、災害時の共助体制を確立しておく。

南海トラフ地震臨時情報や北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたときは！

日頃の地震への備えの再確認

- 避難場所・避難経路等の再確認
- 家族との連絡手段の再確認
- 水や食料等の備蓄の再確認



臨時情報の発表に伴う特別の備え

- すぐに避難できる態勢の確保
- 非常持ち出し品は、日中は常時携帯、就寝時は枕元に置く



※沿岸地域では、

揺れを感じたり津波警報等が発表されたら、直ちに避難してください。

【編集後記】

表紙では、先月号に引き続き現場の従業員の方にフォーカスをあてて、仕事に対する思いや作業時のコツなど簡単なインタビューを交えながらお伝えしております。

例年より1か月早くインフルエンザの流行期に入りましたの体調に気を付けてみなさま今日も一日ご安全に！

次回との+Value通信発行は令和8年11月20日です。